令和９年度

（令和９年４月入学）

（令和９年10月入学）

北 海 道 大 学 大 学 院 理 学 院

修 士 （ 博 士 前 期 ） 課 程

冬期募集

学 生 募 集 要 項

（外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 を 含 む ）

令和８年 11 月

留意事項

Ⅰ 一般選抜

一般選抜出願者は、英語能力の資料（TOEFL、TOEIC のスコアシート原本）を提出することとする。詳細は５頁を参照すること。

試験日程等については、願書受理期間を踏まえ、各自確認すること。

今年度の夏期募集（令和８年８月 10・11 日実施）を受験し、既にスコアシートを提出している者は提出の免除を願い出ることができる（新たにスコアシートを提出することも可）。

該当者は入学願書の「スコアシート提出免除チェック欄」にチェックを入れること。

Ⅱ 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜出願者は、日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出すること。

日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出することが困難な者は、日本語又は英語の成績がわかる出身学校等の学業成績証明書等を提出すること。

【外国籍の出願者への留意事項】

外国人留学生として在籍するには、在留資格「留学」を取得する必要がありますが、「在留資格認定証明書」は、安全保証輸出管理の審査や出入国管理局の手続きにより申請から発行までに３ヶ月以上かかる場合もあります。

また、希望する研究内容が安全保障輸出管理規程の規制事項に該当する場合は、制限がかかる場合がありますのでご留意願います。

《参考　北海道大学　査証（ビザ）の申請と取得手続きについて》
日本語版：https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/preparation/visa
英語版：
https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/en/preparation-en/visa-en

《参考　経済産業省　安全保障貿易管理》https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

目　　次

理学院　アドミッション・ポリシー …… 1

Ⅰ　一般選抜
1．募集人員 …… 2
2．出願資格 …… 2
3．出願資格予備審査 …… 3
4．願書受理期間 …… 3
5．出願書類 …… 4
6．願書提出先 …… 6
7．検定料 …… 6
8．選抜方法 …… 6
9．学科試験 …… 7
10．合格発表 …… 7
11．入学手続及び必要経費 …… 7
12．注意事項 …… 8
13．長期履修について …… 8
14．その他 …… 8

Ⅱ　外国人留学生特別選抜
1．募集人員 …… 9
2．出願資格 …… 9
3．出願資格予備審査 …… 10
4．出願期間 …… 10
5．出願手続・検定料の支払い …… 10
6．出願書類 …… 11
7．選抜方法 …… 12
8．口頭試問 …… 12
9．合格発表 …… 12
10．入学手続及び必要経費 …… 12
11．注意事項 …… 12
12．長期履修について …… 13

北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項 …… 14
長期履修について（案内） …… 15
指導教員及び研究内容一覧表 …… 16

［所定用紙等のとじ込み］
① 入学願書・履歴書・受験票・写真票
② 受験票送付用封筒（480 円分の切手を貼付すること）
③ 合否通知用及び連絡用シール
④ 検定料振込用紙
⑤ 履歴書Ｂ（外国の学校教育課程出身者用）

［専攻により提出する書類］
① 数学専攻
② 物性物理学専攻
③ 宇宙理学専攻
④ 自然史科学専攻（科学コミュニケーション講座）

個人情報の取扱いについて

(1) 本学では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願及び出願資格予備審査に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

(4) 出願及び出願資格予備審査に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者についてのみ、入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③就職支援関係、④授業料等に関する業務を行うために利用します。

(5) (4)の個人情報のうち、氏名、住所等の連絡先に限って、安全確保の措置を講じた上で、北大フロンティア基金、本学関連団体である北海道大学理学部同窓会及び北海道大学校友会エルムからの連絡を行うために利用する場合があります。

(6) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いについては、対象者に別途お知らせします。当該規則の適用となる者（欧州経済領域（EEA）加盟国内から出願する者）は出願前に理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に申し出てください。

理学院　アドミッション・ポリシー

専門的な学術研究に従事していくために必要な数学、物理学、化学、生物学、地球科学などの基礎科目と関連する専門科目を履修し、自然の摂理解明に意欲を持って自主的に学習・研究する能力・素質・適性等を有すること

・入学者選抜の基本方針（多角的な評価方法）

【一般選抜】

筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。筆記試験においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の評価を特に重視して行う。また、口頭試問においては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」を特に重視して評価を行う。併せて、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

【外国人留学生特別選抜】

口頭試問等により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」、「理解力」、「課題発見力」、「関心・意欲」を特に重視して評価を行う。併せて、成績証明書等出願書類により、これらの資質を補完して、入学者を総合的に評価して選抜する。

・入学者選抜の基本方針（評価方法の比重）

【修士課程】

入試区分	評価方法等（筆記試験、口頭試問等を各専攻・分野に応じて実施する。）	学力の３要素			理解力	課題発見力	関心・意欲	教養
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度				
一般選抜	筆記試験	◎	◎		○			
	口頭試問	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						
外国人留学生特別選抜	口頭試問等 ※1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	成績証明書等出願書類	総合的に判断する要素						

※1：Web 会議システム等により試問を行う。

（注）◎は特に重視する要素を、○は重視する要素を指す。

Ⅰ　一般選抜

１．募集人員

専　　攻	募集人員		各専攻等のホームページ
	令和９年 ４月入学	令和９年 10 月入学	
数　学　専　攻	若干名		https://www2.sci.hokudai.ac.jp/dept/math/
物性物理学専攻	若干名		https://phys2.sci.hokudai.ac.jp/cond-mat/
宇宙理学専攻	若干名		https://www.cosmo.sci.hokudai.ac.jp/
自然史科学専攻	若干名		(科学コミュニケーション講座) https://sc.sci.hokudai.ac.jp/
計	若干名		

＊　① 専攻内容の詳細については、直接各専攻に照会すること。
　　② 自然史科学専攻のうち「地球惑星ダイナミクス講座」、「地球惑星システム科学講座」、「地震学火山学講座」及び「多様性生物学講座」は冬期の募集を行いません。

２．出願資格

(1) 日本の大学を卒業した者（大学院入学の前までに卒業する見込みの者を含む。）
(2) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者（大学院入学の前までに授与される見込みの者を含む。）（学校教育法第 104 条第７項）
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに授与される見込みの者を含む。）
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28．２．７ 文部省告示第５号）
(9) 大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、大学院入学の前までに 22 歳に達するもの

＊　「Ⅰ 一般選抜」と「Ⅱ 外国人留学生特別選抜（9 頁）」の併願はできない。
＊　外国人留学生が出願する際には、事前に受入希望教員と必ずコンタクトをとり、受入内諾を得ること。なお、教員からの受入内諾は合格を確約するものではない。
**　　また、「専攻により提出する書類」（志望理由書、志望研究室調査票等）における補足の記述につ**

いても、併せて確認すること。

＊　上記出願資格を有する者で、令和９年 10 月入学を希望する者は、14 頁の「北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項」を参照のうえ、入学願書の「入学期」欄に「レ」を記入すること。

３．出願資格予備審査

申請期間：令和８年 11 月 26 日(木)　～　令和８年 11 月 30 日(月)

「２．出願資格」の(9)又は(10)のいずれかに該当する者は、願書を受理する前に出願資格に関する予備審査を行うので、この期間内に「５．出願書類」に志願者の宛先を明記し 110 円切手を貼付した出願資格予備審査結果通知用封筒（定形）を添えて願い出ること。

なお、予備審査申請に当たっては検定料を納付してはいけない。検定料は下記(注)により納付すること。

(申請はこの期間に郵送により必着のこと。)

(注)　出願資格予備審査の結果については、令和８年 12 月 11 日(金)頃に通知を発送するので、出願資格を認められた場合、令和９年１月８日(金)までに、「７．検定料」を別添の振込用紙を用いて、銀行、ゆうちょ銀行・郵便局から納付し、その受付証明書を提出すること。受付証明書を所定の期間内に提出しない場合は、願書を受理しない。

ただし、国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。

４．願書受理期間

受理期間：令和９年１月５日(火)　～　令和９年１月８日(金)

「２．出願資格」の

(1) 日本の大学卒業者
(2) 大学改革支援・学位授与機構からの学士の学位授与者
(3) 外国の学校教育で 16 年の課程の修了者
(4) 外国の学校が行う通信教育による 16 年の課程の修了者
(5) 外国の大学相当として指定した外国の学校の課程修了者
(6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が３年以上である課程を修了し、学士の学位に相当する学位を授与された者
(7) 指定された専修学校の専門課程の修了者
(8) 文部科学大臣の指定した者

のいずれかに該当する者は、この期間内に「５．出願書類」に「７．検定料」の受付証明書を添えて出願すること。

(願書はこの期間に郵送により必着のこと。)

５．出願書類

＊　「２．出願資格」の(9)及び(10)のいずれかに該当する者は、「３．出願資格予備審査」申請期間内に提出すること。

＊　○は必ず提出する書類、△は該当者のみ提出する書類

提出書類		出願資格			備　　考
		(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)	(9)	(10)	
1	入学願書・履歴書・受験票・写真票	○	○	○	〔所定用紙〕 外国の学校教育課程出身者及び外国の学校が行う通信教育履修者は、**「履歴書Ｂ」**(所定用紙)を添付すること。
2	最終出身大学(学部)等の学業成績証明書	○	○	○	出願資格(9)による出願者は、在学する大学の学業成績証明書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
3	最終出身大学(学部)等の卒業（見込）証明書又は学位授与(見込)証明書	○	○	○	①出身大学等の長が作成したもの。 （既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。） ◎中華人民共和国（台湾、香港、マカオを除く）の大学等を卒業、または卒業見込みの者は、卒業（見込）証明書に加えて、英語による以下の書類を提出してください。 既卒者　…a 学歴証書電子登録票（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate） 卒業見込者…a オンライン在籍認証レポート（Online Verification Report of Student Record） 上記のうち、書類aは中華人民共和国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。 また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 ②出願資格(2)による志願者は、i)又はii)いずれかの書類を提出すること。 ｉ）大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書 ii）所属する高等専門学校が発行する卒業（見込）証明書及び学位授与申請予定証明書 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
4	大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明できる書類			○	〔様式任意〕 例：国際的活動経験、実務経験、語学習得状況等を記載した書面、研究論文、特許公報、各種資格取得証明書、関係教員の推薦書 等
5	出願専攻により提出すべき書類	○	○	○	次表「出願専攻により提出すべき書類」で確認のうえ提出すること。
6	受験票送付用封筒	○	○	○	〔所定封筒〕 封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、480 円分の切手を貼付して提出すること。出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。
7	合否通知用及び連絡用シール	○	○	○	〔所定用紙〕 シールには、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記して提出すること。出願後に転居等で宛先を変更する場合は、必ず本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に連絡すること。

8	最終出身大学(学部)又は学部長の推薦書（厳封）	△	○	△	〔様式任意Ａ４判〕 ①出願資格(9)による志願者は必ず提出すること。 ②出願資格(1)～(8)及び(10)による志願者は、数学専攻・物性物理学専攻・宇宙理学専攻に出願する場合のみ提出することができる（任意提出)。
9	英語能力の資料 (TOEFL、TOEIC のスコアシート原本)	○	○	○	①又は②いずれかのスコアシートを提出すること。 スコアシートは原本の提出とする。（下記の（注）を参照） ① TOEIC 公開テスト【Listening & Reading Test に限定】 （令和６年７月以降に受験したスコア） ※デジタル公式認定証を印刷したものを原本と同等の扱いとして提出できる。 ② TOEFL-iBT（Home Edition 可） （令和６年７月以降に受験したスコア） 令和８年春以降に受験した者は、ETS アカウントから PDF でダウンロードしたものを印刷し提出すること。 なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IP 及び TOEIC-Bridge は認められない。 ただし、数学専攻については、TOEFL-ITP【テストペーパー版に限定】も可とする。 ③国内又は外国の大学(院)において英語による教育を受けた者 出身大学(院)において英語による教育を受けたことを当該大学(院)が証明した書類（Medium of Instruction certificate 等）を提出することで、英語スコアシートの提出を免除できる場合がある。該当する場合は、本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当まで問い合わせること。 なお、今年度の夏期募集（令和８年８月 10・11 日実施）を受験し、既にスコアシートを提出している者は提出の免除を願い出ることができる（新たにスコアシートを提出することも可)。 該当者は入学願書の「スコアシート提出免除チェック欄」にチェックを入れること。
10	出願資格予備審査結果通知用封筒		○	○	定形郵便用封筒に、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、110 円分の切手を貼付すること。

（注）英語能力の資料（スコアシート）提出の取扱いについて

出願期間に提出したスコアシートの追加又は差し替えは認めません。

◎　出願専攻により提出すべき書類

専　攻　名	提　出　書　類	備　　考
数　学　専　攻	１．志望理由書 （所定用紙） ２．数学レポート及びその概要 （概要は所定用紙）	１．には、所定用紙の設問に従って志望理由を記入すること。 ２．は、入学後に研究したい分野並びに特に興味を持った「定理」又は「理論」について、自分が充分に理解し、説明できる事柄をＡ４判の用紙７頁以上かつ 10 頁以下にまとめること。このレポートの内容を参考に、面接委員からの試問に答える形で口頭試問を行う。また、数学レポートの概要を所定用紙に記入すること。
物性物理学専攻	１．志望研究室調査票 （所定用紙）	志望研究室調査票に、「指導教員及び研究内容一覧」から志望研究室を第３志望まで記入すること。なお記入にあたり、志望研究室の担当教員に事前に必ず連絡をとり、研究室への受入れと調査票への記載の許可を得ること。

宇宙理学専攻		1．志望研究室調査票 （所定用紙） 2．宇宙理学レポート （A４判任意用紙）	1．志望研究室調査票は、「指導教員及び研究内容一覧」から志望研究室を第３志望まで記入すること。なお記入にあたり、志望研究室の担当教員に事前に必ず連絡をとり、研究室への受入れと調査票への記載の許可を得ること。 2．には、卒業研究の内容又は宇宙理学関連分野の中で興味を持って学んだテーマについてA４判の用紙２頁以内にまとめること。
自然史科学専攻	科学コミュニケーション講座	1．志望研究室調査票 （所定用紙） 2．志望理由書 （所定用紙）	

６．願書提出先

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当

＊　願書は郵送により提出すること。また、必ず**「速達」の書留郵便**とし、**「大学院入学願書在中」と朱書**すること。募集要項のとじ込みにある「受験票送付用封筒」ではなく、別途用意した封筒で郵送すること。

７．検定料　　30,000 円

① 出願時において国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生及び北海道大学インテグレイテッドサイエンスプログラム履修生として本学の学部に在学している者は、検定料の納付を要しない。
※ 北海道大学以外からの推薦による国費外国人留学生採用者は、採用(予定)通知書の写を提出すること。
② 検定料は、「理学院所定用紙等のとじ込み」にある「検定料振込用紙」を用いて、銀行、ゆうちょ銀行･郵便局から納付し、「検定料受付証明書」(E)を入学願書の所定の欄に貼付して提出すること。
③ 既納の検定料は、以下の場合を除き返還しない。
・検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
・検定料を誤って二重に払い込んだ場合

８．選抜方法

学科試験（筆記及び口頭)、成績証明書等出願書類を総合して合格者を決定する。

９．学科試験（筆記及び口頭）

日　　時：令和９年２月８日(月)　～　２月９日(火)
試験会場：北海道大学大学院理学院（札幌市北区北 10 条西８丁目）※オンライン形式を除く

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">専　攻　名</td><td colspan="2">２月８日(月)</td><td colspan="2">２月９日(火)</td></tr>
<tr><td>午前</td><td>午後</td><td>午前</td><td>午後</td></tr>
<tr><td colspan="2">数　学　専　攻</td><td colspan="2">口頭試問（オンライン形式）
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">物性物理学専攻</td><td colspan="2">口頭試問
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">宇 宙 理 学 専 攻</td><td colspan="2">口頭試問
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">自然史科学専攻</td><td>科学コミュニケーション講座</td><td>課題論文
(10:00～11:30)</td><td>口頭試問
(13:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊　試験時間及び試験室等の詳細については、受験票の送付時に別途通知する。口頭試問の集合時刻は受験者によって異なる場合がある。

(注)
① 物性物理学専攻と宇宙理学専攻の口頭試問では専門科目の基礎学力を問う。
② 自然史科学専攻のうち「科学コミュニケーション講座」の課題論文は、ホームページ(https://sc.sci.hokudai.ac.jp/examination/thesis.html)に公開されているテーマごとに作成された８つの問題から、２題選択して答える。

10. 合格発表

合格者について、令和９年２月 19 日(金)16：30 頃に本学院ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者のみに通知する。

11. 入学手続及び必要経費

入学手続きについては、合格通知の際に併せて連絡する。
入学料　282,000 円（予定額）
授業料　267,900 円〔年額 535,800 円のうちの前期分〕（予定額）
＊　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

12. 注意事項

① 入学試験当日は、受験票を必ず持参して机上に置くこと。
本学院が必要と判断した場合は、本人確認を行うため、身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））を持参すること

② 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めない。

③ 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合や本人以外の写真や容姿を加工した写真を出願書類として使用することは不正行為として取り扱い、入学許可を取り消すことがある。

④ 試験中に、カンニングをする行為、他の受験者へのカンニングの手助けをする行為は不正行為とする。また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用した場合も不正行為とする。なお、イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものと見なす。
ただし、これらの機器の使用に関しては事前に許可があった場合は不正行為から除く。
試験実施の際に本学院の指示に従わない行為を行った場合は不正行為となる場合がある。

⑤ 不正行為を発見した場合、その場で、受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての教科・科目の成績を無効とする等の対応をとる場合がある。
合格後に不正行為が判明した場合には、入学許可を取り消すことがある。

⑥ 病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、出願までに理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当へ申し出ること。※修学上希望する配慮事項がある場合も併せて相談すること。

《参考》北海道大学入学案内　合理的配慮の提供に関する情報
https://www.hokudai.ac.jp/admission/gouriteki-hairyo.html

13. 長期履修について

本学院では長期履修制度を設けているので、長期履修を希望する者は 15 頁の「長期履修について（案内）」を熟読のうえ、申請すること。

14. その他

願書が受理された者には、令和９年１月 18 日(月)頃に受験票を発送する。

◎出願に関して不明な点等があれば、下記まで連絡すること。

〒060-0810　札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当
（窓口受付時間　平日 8:30～12:15、13:00～17:00）
℡ (011) 706-3675　　Email：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院理学院
ホームページ　https://www2.sci.hokudai.ac.jp/gs/

Ⅱ　外国人留学生特別選抜

１．募集人員

専　　攻	募集人員	
	令和９年４月入学	令和９年 10 月入学
数　学　専　攻	若干名	
物性物理学専攻		
宇 宙 理 学 専 攻		
自然史科学専攻		

＊　自然史科学専攻のうち「地球惑星ダイナミクス講座」、「地球惑星システム科学講座」、「地震学火山学講座」及び「多様性生物学講座」は冬期の募集を行いません。

２．出願資格

日本の国籍を有しない者、かつ、日本国の永住許可を得ていない者で、入学後に主任として研究指導担当を希望する本学院担当専任教員（以下「受入教員」という。）の推薦書により能力・学力があると保証され、次のいずれかの出願資格を有する者

(1) 日本の大学を卒業した者（大学院入学の前までに卒業する見込みの者を含む。）
(2) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者（大学院入学の前までに授与される見込みの者を含む。）（学校教育法第 104 条第７項）
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（大学院入学の前までに授与される見込みの者を含む。）
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（大学院入学の前までに修了する見込みの者を含む。）
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28．２．７　文部省告示第５号）
(9) 大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、大学院入学の前までに 22 歳に達するもの

＊　「Ⅰ 一般選抜（2 頁）」と「Ⅱ 外国人留学生特別選抜」の併願はできない。
＊　事前に受入教員と必ずコンタクトをとり、受入内諾が得られた場合はインターネット出願に必要となるパスワードを受領すること。なお、教員からの受入内諾は合格を確約するものではない。
　また、受入教員に推薦書（様式任意）を作成してもらい、出願期間中に直接、大学院教育担当へ提出してもらうように依頼すること。
＊　令和９年 10 月入学を希望する者は、14 頁の「北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項」を参照のうえ、インターネット出願登録画面で「令和９年 10 月入学」を選択すること。

３．出願資格予備審査

申請期間：令和８年 11 月 26 日(木)　～　令和８年 11 月 30 日(月) 午後５時（日本時間）

「２．出願資格」の(9)又は(10)のいずれかに該当する者は、願書を受理する前に出願資格に関する予備審査を行うので、この期間内に「６．出願書類」を PDF ファイルで E-mail に添付して送付すること。出願資格予備審査書類に虚偽の記載等があった場合は、出願資格を取り消すことがある。

【送付先 E-mail アドレス：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp】

なお、出願資格予備審査申請に当たっては検定料を納付してはいけない。

出願資格予備審査の結果については、令和８年 12 月 11 日(金)頃に本人あてメールで通知するので、出願資格を認められた場合、速やかに「４．出願期間」内に「５．出願手続・検定料の支払い」を行うこと。

ただし、国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。

４．出願期間

◆ **インターネットでの登録：令和８年 12 月 11 日(金)　～　令和８年 12 月 16 日(水)**
午後５時（日本時間）

＊　インターネット登録後、願書書類を PDF にして 12 月 16 日(水)までにメール送信すること。

【送付先 E-mail アドレス：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp】

◆ **出願書類の提出期限：令和９年１月８日(金) 午後５時（日本時間）まで**

＊　インターネットでの登録後、PDF のメール送信とは別に出願書類を提出（郵送）すること。
手続きについては、「５．出願手続・検定料の支払い」を参照すること。

「２．出願資格」の(1)～(8)による志願者

上記出願期間に「５．出願手続・検定料の支払い」を参照のうえ手続きを行うこと。

「２．出願資格」の(9)及び(10)による志願者

先に「３．出願資格予備審査」へ申請し、出願資格が認められた後、上記出願期間に「５．出願手続・検定料の支払い」を行うこと。

５．出願手続・検定料の支払い

出願手続きは、以下①～③のすべてが出願期間までに完了（到着）していることが確認されたもののみ受理する。

① インターネットでの出願登録
事前に受入教員から取得したパスワードにより北海道大学インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-sci/）にアクセスし、登録すること。
※　インターネット出願には「プリンター」と「メールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可。）」が必要なので注意すること。

② 検定料の支払い
インターネット出願後に表示される画面に従い、Ⅰ～Ⅲのいずれかの方法で支払うこと。
検定料　30,000 円

Ⅰ：クレジットカードによる支払い
Ⅱ：Pay-easy（銀行 ATM、ゆうちょ銀行 ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、PayPay 銀行、楽天銀行による支払い
Ⅲ：中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い

※　検定料に加え、別途事務手数料（500 円程度）がかかるので注意すること。

※　出願時において国費外国人留学生、中国政府国家公派研究生項目派遣学生は、検定料の納付を要しない。
北海道大学以外からの推薦による国費外国人留学生採用者は、採用(予定)通知書の写を提出すること。

※　既納の検定料は、以下の場合を除き返還しない。
・検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
・検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③　出願書類の郵送
インターネット出願後に作成される入学願書・履歴書及び、その他出願に必要な書類（「６．出願書類」参照）を封筒に入れ、出願期間内に必着するように送ること。
なお、提出された出願書類は返却できないので注意すること。

【出願書類送付先】060-0810　日本国 北海道札幌市北区北 10 条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当
注）出願期間後に到着した場合は受理しないので、郵便事情等を考慮して発送すること。

６．出願書類

提出書類		備　　考
1	入学願書・履歴書	インターネット出願サイトへ必要事項を入力後に作成される入学願書・履歴書をＡ４判で印刷のうえ提出すること。 **※　出願資格(9)及び(10)による志願者は、出願資格予備審査で出願資格が認められた後に作成・提出すること。**
2	出願資格予備審査申請書	〔所定様式〕 **※　出願資格(9)及び(10)による志願者が、**インターネット出願サイトから様式をダウンロードして作成すること。
3	写真１枚	縦４cm×横３cm
4	最終出身大学（学部）等の学業成績証明書	参考として、出身大学等の指導教員等の推薦状を添えることができる。
5	日本語能力又は英語能力がわかる証明書	日本語能力又は英語能力を示す証明書を提出することが困難な者は、日本語又は英語の成績がわかる出身大学等の学業成績証明書等を提出すること。
6	卒業（見込）証明書	①出身大学等の長が作成したもの。 （既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。） ◎中華人民共和国（台湾、香港、マカオを除く）の大学等を卒業、または卒業見込みの者は、卒業（見込）証明書に加えて、英語による以下の書類を提出してください。 既卒者　…a 学歴証書電子登録票（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate） 卒業見込者…a オンライン在籍認証レポート（Online Verification Report of Student Record） 上記のうち、書類aは中華人民共和国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）より取得してください。 また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。 ※原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
7	パスポートの写し	パスポートの氏名を記載しているページの写しを提出すること。
8	出願専攻により提出すべき書類	**数学専攻を志望する者**は、数学レポートを提出すること。レポートには入学後に研究したい分野並びに特に興味を持った「定理」又は「理論」について、自分が充分に理解し、説明できる事柄をＡ４判の用紙７頁以上かつ 10 頁以下にまとめること。このレポートの内容を参考に、面接委員からの試問に答える形で口頭試問を行う。
9	その他受入教員が要求する書類等	

７．選抜方法

口頭試問の成績、入学願書・履歴書、最終出身学校等の学業成績証明書、受入教員の推薦書等の出願書類の内容を総合して合格者を決定する。

８．口頭試問

日　　時：令和９年２月８日(月)　～　２月９日(火)
※渡日前の外国人留学生に対しては、口頭試問の日程等を別途案内することがある。
試験会場：北海道大学大学院理学院（札幌市北区北 10 条西８丁目）※オンライン形式を除く

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">専　攻　名</th><th colspan="2">２月８日(月)</th><th colspan="2">２月９日(火)</th></tr>
<tr><th>午前</th><th>午後</th><th>午前</th><th>午後</th></tr>
<tr><td colspan="2">数　学　専　攻</td><td colspan="2">口頭試問（オンライン形式）
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">物性物理学専攻</td><td colspan="2">口頭試問
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">宇 宙 理 学 専 攻</td><td colspan="2">口頭試問
(9:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">自然史科学専攻</td><td>科学コミュニケーション講座</td><td></td><td>口頭試問
(13:00 以降)</td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊　試験時間及び試験室等の詳細については、受験票の送付時に別途通知する。口頭試問の集合時刻は受験者によって異なる場合がある。

９．合格発表

合格者について、令和９年２月 19 日(金)16：30 頃に本学院ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者のみに通知する。

ただし、口頭試問の日程等を別途案内した渡日前の外国人留学生に対する合格発表については、令和９年１月 28 日(木) 16:30 頃に本学院ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者のみに通知する。

10. 入学手続及び必要経費

入学手続きについては、合格通知の際に併せて連絡する。
入学料　282,000 円（予定額）
授業料　267,900 円〔年額 535,800 円のうちの前期分〕（予定額）
＊　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11. 注意事項

① 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めない。
② 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合や本人以外の写真や容姿を加工した写真を出願書類として使用することは不正行為として取り扱い、入学許可を取り消すことがある。
③ 試験中に、カンニングをする行為、他の受験者へのカンニングの手助けをする行為は不正行為とする。また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使

用した場合も不正行為とする。なお、イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものと見なす。

ただし、これらの機器の使用に関しては事前に許可があった場合は不正行為から除く。

試験実施の際に本学院の指示に従わない行為を行った場合は不正行為となる場合がある。

④　不正行為を発見した場合、その場で、受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての教科・科目の成績を無効とする等の対応をとる場合がある。

合格後に不正行為が判明した場合には、入学許可を取り消すことがある。

⑤　病気・負傷や障がい等のために受験上特別な配慮を必要とする場合は、出願までに理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当へ申し出ること。※修学上希望する配慮事項がある場合も併せて相談すること。

《参考》北海道大学入学案内　合理的配慮の提供に関する情報
https://www.hokudai.ac.jp/admission/gouriteki-hairyo.html

12. 長期履修について

本学院では長期履修制度を設けているので、長期履修を希望する者は15頁の「長期履修について（案内）」を熟読のうえ、申請すること。

◎出願に関して不明な点等があれば、下記まで連絡すること。

〒060-0810　札幌市北区北10条西８丁目
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 大学院教育担当
（窓口受付時間　平日 8:30～12:15、13:00～17:00）
℡ (011) 706-3675　　Email：r-gakuin@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院理学院
ホームページ　https://www2.sci.hokudai.ac.jp/gs/

北海道大学大学院理学院 10 月入学者選抜試験実施要項

（趣旨）

第１条　北海道大学大学院通則（昭和 29 年海大達第３号。以下「通則」という。）及び北海道大学大学院理学院規程（平成 18 年海大達第 96 号）に定めるもののほか、北海道大学大学院理学院（以下「理学院」という。）における 10 月入学者の選抜試験実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（対象とする課程）

第２条　10 月入学者選抜試験を実施する課程は、修士（博士前期）課程及び博士後期課程とする。

（出願資格）

第３条　10 月入学を志願することのできる者は、入学しようとする年度の直近の学生募集要項に記載されている出願資格を有する者及び大学院入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者とする。

（出願資格の予備審査）

第４条　10 月入学志願者のうち、次の各号のうちの１に該当する者については、出願資格に関する予備審査を行う。

(1) 修士課程（博士前期課程）に志願する、大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程修了者及び個別の入学資格審査による志願者

(2) 博士後期課程に志願する、文部科学大臣の指定した者及び個別の入学資格審査による志願者

（選抜試験の実施等）

第５条　前４条に定めるもののほか、10 月入学者の選抜試験実施に関し必要な事項は、直近の募集要項を準用する。

付　記（平成 18 年６月１日理学院代議委員会（入試委員会））

１　この要項は、平成 18 年６月１日から実施する。

２　（略）

長期履修について（案内）

１．趣旨

学生が職業を有している等（介護・育児等を含む。）の事情により、標準修業年限（２年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を修了したい旨を申し出たときは、個別に審査のうえ、その計画的な履修（以下「長期履修」といいます。）を認めることができる制度です。

２．対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で、かつ、当該事由により、学業に専念できないため、課程修了に要する学修（研究）計画年数を予め長期に設定することを希望する者が申請できます。

(1) 官公庁、企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
(2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、その負担により修学に重大な影響があるもの
(3) 育児、親族の介護等前２号に準ずる負担により、修学に重大な影響がある者
(4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めたもの

３．在学期間

長期履修を認める期間は、修士課程にあっては４年以内で、年を単位として申請することができます。

また、長期履修を認められた学生が在学できる期間は、認められた長期履修期間に２年を加えた期間までです。

なお、理学院において休学を許可することができる期間は、長期履修学生も標準修業年限の学生と同じく２年間までです。

４．申請手続き等

(1) 申請期限

原則として、入学願書提出時に申請してください。

(2) 提出書類等

長期履修申請書類は事前に本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当に問い合わせ、早めに取り寄せておいてください。

① 長期履修申請書（様式１）
② 長期履修計画書（様式２）
③ 長期履修が必要であることを証明する書類等

(3) 個別の審査

長期履修の申請があった場合は、個別に審査を行い、その結果を入学試験合格者にのみ（合格通知と併せて）通知します。

５．履修期間の短縮又は延長

本学院において必要と認めるときは、長期履修期間の短縮又は延長を、在学する課程において１回に限り認めることができます。

手続き等の詳細については、入学後に【理学院在学者用】の案内を参照してください。

６．授業料の取扱い

長期履修が認められた者の授業料は、標準修業年限に納付すべき授業料の額（年額×２年）を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定します。なお、授業料の改定又は長期履修期間の変更が許可された場合等はその都度再計算します。ただし、納入済みの授業料を遡って調整することはありません。

【長期履修申請期間に係る授業料は、決定通知があるまで絶対に納入しないでください。】

７．その他

長期履修制度の詳細については、本学理学・生命科学事務部事務課大学院教育担当あてお問い合わせください。

指導教員及び研究内容一覧表

令和８年１１月１日現在

修士（博士前期）課程

理学院　数学専攻

分　野	指導教員		研究内容	備　考
代数系	教　授	朝倉　政典	数論幾何学	
	教　授	澁川　陽一	ヤン・バクスター方程式と量子群	
	教　授	安田　正大	整数論，数論幾何学	
	特任教授	松本　圭司	特殊関数論	令和9年3月退職予定
	准教授	大内　元気	代数幾何学、連接層の導来圏、モジュライ空間	
	准教授	蔡　園青	整数論、表現論、保型L関数、保型表現、被覆群	
	准教授	スクリムシャー，トラビス	組合せ論、表現論、シューベルト・カルキュラス	
	准教授	松下　大介	代数幾何学	
幾何系	教　授	秋田　利之	代数トポロジー，群のコホモロジー，カンドル	
	教　授	井ノ口順一	幾何学、可積分系、リー群、等質空間	
	教　授	小林　真平	微分幾何学、可積分系	
	教　授	古畑　　仁	微分幾何学	
	准教授	粕谷　直彦	微分位相幾何学、接触構造、複素構造	
	准教授	川﨑　盛通	シンプレクティック幾何学、幾何学的群論、微分トポロジー	
	准教授	野崎　雄太	低次元トポロジー、結び目、曲面の写像類群	
	助　教	神田　雄高	微分位相幾何学	
	助　教	菅原　朔見	低次元トポロジー、超平面配置	
解析系	教　授	久保　英夫	非線型ダイナミクスに現れる偏微分方程式	
	教　授	小林　政晴	調和解析	
	教　授	本多　尚文	代数解析	
	教　授	宮尾　忠宏	数理物理学，関数解析，凝縮系物理学	
	特任教授	洞　　彰人	関数解析，確率論	令和9年3月退職予定
	准教授	梅田　陽子	完全WKB解析，漸近解析，高階パンルヴェ方程式，Stokes幾何	
	准教授	鈴木　悠平	作用素環論	
	准教授	長谷部高広	確率論，関数解析	
	准教授	浜向　　直	非線形偏微分方程式，粘性解理論	
	助　教	佐藤　僚亮	確率論、作用素環論	
数理科学系	教　授	坂井　　哲	確率論，統計力学，数理物理学	
	教　授	長山　雅晴	反応拡散系，数理モデリング，数値計算	
	教　授	行木　孝夫	エルゴード理論，力学系，複雑系	
	教　授	眞崎　　聡	偏微分方程式，調和解析，変分解析	
	准教授	上田　祐暉	偏微分方程式、数値解析	
	准教授	黒田　紘敏	偏微分方程式，変分解析	
	准教授	佐藤　　譲	複雑系，カオス的力学系	
	准教授	田﨑　創平	数理生命科学、微生物学	
	准教授	田畑　公次	オンライン学習、データサイエンス、計算理論	
	准教授	中野　雄史	力学系、エルゴード理論、カオス	
	助　教	石井　宙志	偏微分方程式、反応拡散系、非局所効果	
	助　教	喜多　航佑	発展方程式、偏微分方程式、非線形半群	
	助　教	FUKUSHIMA KIMURA, Bruno Hideki	確率論、統計力学、数理物理学	

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

指導教員及び研究内容一覧表

令和８年１１月１日現在

修士（博士前期）課程

理学院　物性物理学専攻

研究室	指導教員		研究内容	備考
固体電子物性研究室	教　授	吉田　紘行	高温高圧合成法を含む多彩な化学的手法により強相関電子系の新物質を開拓し、その性質をバルク物性測定（電気抵抗・磁化・比熱測定や超高磁場中物性計測など）と微視的物性測定（μSRや中性子、放射光X線散乱など）により解明する。 具体的には、フラストレート磁性体の開発と強磁場中量子多体状態の探索、拡張多極子物質の開拓と交差相関現象の探索、スキルミオン物質の開発、アクチノイド化合物の開発と新規超伝導状態や奇パリティ多極子の観察などを行う。	
	助　教	今　布咲子		
	助　教	北澤　崇文		
Jマテリアル 強相関物性研究室	教　授	網塚　　浩	固体内電子のスピン軌道相互作用と結晶構造に内在するパリティ対称性の破れがもたらす新しい物質機能，並びにこれを有する新物質（Jマテリアル）を開発する。極低温・強磁場･超高圧下での熱・磁気・輸送･超音波物性実験および中性子散乱・ミュオンスピン緩和･共鳴Ｘ線回折等の微視的実験を用い，Jマテリアル系に発現する超伝導や磁気相関，電子－フォノン相関，電気磁気交差相関等の現象を調べる。また，固体の古典的，量子的協力現象に関して，それを支配する秩序度と揺らぎに注目し，Ｘ線回折とレーザー分光を用いて構造とダイナミクスの両面から機構解明を行う。さらに電子励起を伴う光励起状態と協力現象が交わり発現する新奇現象を基礎物理学的側面から解明する。	
	教　授	柳澤　達也		
	准教授	武貞　正樹		
	講　師	日高　宏之		
低次元マテリアル物性研究室	教　授	河本　充司	低温グループ（河本、井原、福岡） 分子性物質等の強相関電子系において新しいタイプの超伝導状態や新奇な電子状態について，主として核磁気共鳴（ＮＭＲ）法の手段をもちいてミクロな観点から研究を行う。極低温に至る広範囲な温度領域での磁化，輸送現象等の測定も行う。また，ＮＭＲの誘電体など，他の物性探索への手法の開発も行う。 低次元グループ（松永、延兼） 低次元導体における電子物性の研究。有機・無機物などの低次元電子系特有の超伝導，電荷・スピン密度波，トポロジカル現象等の新奇量子物性を調べる。微細加工を用いたメゾスコピック物理も対象とする。低温，高磁場，高圧下における輸送現象やSQUID磁束計を用いた磁化率の精密測定，極低温走査トンネル顕微鏡測定等により低次元系の電子物性を解明する。 光物性グループ（山本） 光と物質の相互作用を主にレーザー光を用いた分光測定によって研究する。対象となる系は有機物、金属、半導体等である。溶液中分子の発光では液体のダイナミクスに起因する数ミリ秒のエネルギー緩和を扱い、半導体の励起状態緩和の測定ではマイクロ秒からナノ秒程度の時間スケールの緩和現象を扱う。半導体ナノ粒子の研究では化学合成によって数ナノメートルの微粒子を作成し、電子をナノ粒子に閉じ込めた際の量子効果に起因する様々な現象を研究している。 志望研究室調査票にはグループ名まで記載してください。	2027年度受け入れ予定なし
	准教授	松永　悟明		
	准教授	井原　慶彦		
	助　教	山本　夕可		
	助　教	延兼　啓純		
	助　教	福岡　脩平		
量子機能材料研究室	准教授	畑野　敬史	分子線エピタキシ法による高品位成膜技術、半導体プロセスを駆使した微細加工、ヘテロ接合・ストレイン効果などを統合した界面制御を融合させ、機能性材料を用いた高機能デバイス開発および、その中に潜む基礎物性解明を目指して研究を展開する。主な研究対象は鉄系超伝導体をはじめとする15族元素を含む材料群だが、これ以外にも多彩な機能性材料を探索する。最近の研究題目として、以下を掲げる。 １．鉄系超伝導体で拓く高機能量子技術の開発 ２．高性能15族化合物の薄膜化と基礎物性の解明 ３．人工構造による新奇光電融合現象の探索	

研究室	指導教員		研究内容	備考
統計物理学研究室	教授	速水　賢	量子統計力学に基づいた理論解析、数値シミュレーション、第一原理計算を相補的に用いた研究を行うことにより、現実物質が示す物性現象の統一的理解、さらには本質的に新しい電子相や量子現象の理論的提案を目指す。最近の研究対象としては、 (1) ミクロな多極子に基づいた電子物性表現論 (2) スキルミオンを含むトポロジカル磁性 (3) 磁性体における創発スピン軌道物性 (4) 電気・磁気・弾性・熱・光自由度間にまたがるマルチフェロイクス現象 (5) 機械学習を用いた新規物性の探索 (6) 電子多極子表現論を用いた第一原理有効模型計算法の開発 (7) キラル物質およびフェロアキシャル物質の普遍的性質の解明 また、非平衡統計力学を用いた熱機関の効率の研究や非線形動力学を用いた結合振動子系におけるパターン形成やカオス等の複雑なダイナミクスの研究も行っている。手法としては理論的解析に加え、数値シミュレーションを用いている。	
	講　師	大岩　陸人		
	助　教	奥田　浩司		
数理物理学研究室	教　授	山本　昌司	強相関電子系，多自由度(電荷，スピン，軌道，格子)結合系に新奇な量子協力現象を開拓ひいては新たな理論的パラダイムの構築を目指す。現象の解明はもとより，その道程たる数理の開発・深化にも数値コーディングと解析計算の両面から力を注ぐ。舞台として(光)格子磁性体，遷移金属錯体・酸化物，有機高分子，現象あるいは計算物理量として量子スピン液体，光スウィッチング磁石，核磁気共鳴，非弾性中性子散乱，ラマン散乱，光学伝導度，角度分解光電子分光。特に最近のキー・ワードとして“トポロジー”を挙げる。幻の粒子マヨラナ・フェルミオン，目に見えないゲイジ(位相)自由度が暗躍する分数励起，５次元周期格子の分身たる２次元準結晶(無理数格子)。物質に潜む美しい対称性の定式化から，実験グループと連携する実証研究まで幅広い。	
	准教授	大原　　潤		
	助　教	井上　天		
量子物性物理学研究室 （電子科学研究所）	教　授	小林　夏野	超伝導・磁性を中心とした量子物質の開発を行う。特に準安定構造を持つ物質に着目し新規構造と新規電子状態の探索を行う。高圧合成を含めたバルク物質合成や真空蒸着による薄膜合成を行い、回折実験・元素分析・電子顕微鏡などを用いた解析と電気伝導・磁化率などの物性測定を行う。	
	助　教	大石　遼平		
	准教授	近藤　憲治	場の理論を用いた輸送現象及び電子構造の理論研究。具体的には，スピン軌道相互作用はSU(2)の非可換ゲージ場と見なせるので，場の理論を用いたスピントロニクス素子のデバイス特性の導出ならびにトポロジカル絶縁体のデバイス応用を目指した理論研究を行っている。また集積化に伴い低次元化を余儀なくされる電子の１電子スペクトラムをGW近似やGWΓ近似を用いて，正確に計算する研究を行っている。	2027年度受け入れ予定なし

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

令和８年１１月１日現在

修士（博士前期）課程

理学院　宇宙理学専攻

研究室	指導教員		研究内容	備考
観測天文学研究室	教　授	徂徠　和夫	国内外の望遠鏡による観測やアーカイブデータを用いて，星生成を含むガスの循環過程を中心に，銀河の進化を研究する。関連して，南極テラヘルツ望遠鏡計画に参加するとともに，小型の紫外線望遠鏡を製作するための開発・研究を行う。	
素粒子・宇宙論研究室	教　授	小林　達夫	自然の究極的構造や物質について，標準模型を超える物理と宇宙の構成要素の解明について理論的に研究する。超対称性標準模型，素粒子論における力の統一理論，超弦理論，場の理論の非摂動的研究から，初期宇宙論やブラックホール，宇宙のダークマター等の研究まで行う。	
	教　授	瀬戸　　治		
	准教授	杉下　宗太郎		
	講　師	末廣　一彦		
	助　教	アリンダム・ダス		教育イノベーション機構
原子核理論研究室	准教授	野村　昂亮	量子多体系としての原子核の構造と動力学に関する理論的研究を行う。主な研究内容として、核子多体系の密度汎函数理論などの微視的理論に基づいた中重核の変形・集団運動模型の構築、それを用いることで、国内外のRIビームを用いた実験で探索が可能になってきた「不安定核」の分光学的性質の予言、洋梨型変形や変形の共存といった原子核のエキゾチックな変形と集団運動、初期宇宙での重元素生成過程に関わるベータ崩壊、ニュートリノ放出を伴わない二重ベータ崩壊、電気的双極子モーメント等の基本相互作用に関わる課題の探究、等が含まれる。解析的な手法と、高性能計算機を用いた数値的な手法を駆使してこれらの問題に取り組んでいる。また、国内外の理論・実験研究者との国際共同研究を展開している。	
理論宇宙物理学研究室	教　授	岡本　　崇	宇宙における階層構造の形成とその進化の理論的な研究。研究対象は，宇宙の大規模構造，暗黒物質ハロー，銀河団，銀河，銀河中心超巨大ブラックホール，恒星系，恒星，超新星爆発，恒星質量ブラックホール，分子雲，星間ガス，星間ダスト，銀河間ガス，宇宙の化学進化など多岐にわたる。また，宇宙で最初の星や銀河の形成から我々の天の川銀河の形成まで，ビッグバンから現在までの宇宙進化全体を対象に研究を進めている。主な研究手段として数値計算によるシミュレーションと準解析的銀河形成モデルを用いる。実験，観測との共同研究も活発におこなう。	
	助　教	杉村　和幸		
惑星宇宙グループ	教　授	倉本　　圭	研究は互いに有機的に関連する次の3つの柱からなる。１）地球・惑星・衛星の大気・プラズマの構造と運動について，探査機・望遠鏡・コンピュータシミュレーションを用いて研究を行う。２）太陽系の起源から地球・惑星・衛星の形成と進化，内部構造について，理論・探査データ解析の手法を用いて研究する。３）惑星大気の循環構造と惑星表層環境を計算機シミュレーションを用いて再現し，地球大気との比較考察を基に理解することを目指す。観測施設や関連学術機関をネットワークで結ぶことによって外部研究者との共同研究を積極的に推進している。	
	教　授	高橋　幸弘		
	教　授	石渡　正樹		
	教　授	佐藤　光輝		
	准教授	鎌田　俊一		
	講　師	高木　聖子		

研究室	指導教員		研究内容	備考
宇宙物質科学 （低温科学研究所）	教　授	渡部　直樹	宇宙の固体微粒子や極低温領域（星間分子雲）における分子や有機物質の形成メカニズムを原子レベルの実験から解明する。星間分子雲に浮遊する氷微粒子の物性や表面における化学物理素過程を，超高真空・極低温装置，電子顕微鏡，原子ビーム，赤外分光，波長可変レーザー、微小重力実験等を用いて詳細にしらべる。	
	教　授	木村　勇気		
	准教授	大場　康弘		
	准教授	山﨑　智也		
	助　教	日高　　宏		
	助　教	石橋　篤季		
相転移ダイナミクス （低温科学研究所）	教　授	佐﨑　　元	地球・惑星圏で最も普遍的な物質である氷の相転移ダイナミクスに関する実験的研究を行う。特に，先端的な光学手法を駆使して，分子レベルでの氷表面や界面の構造，そこでの分子の取り込みや離脱のダイナミクス，生体高分子との相互作用など，幅広い問題の解明を目指す。	
	准教授	村田憲一郎		
	助　教	長嶋　　剣		
情報メディア科学 （情報基盤センター）	教　授	布施　　泉	教育・学習の情報化・オープン化をふまえた学習用情報環境に関する研究，科学教育用コンテンツの開発と評価，学習科学に関する研究を行う。	
	助　教	山本　裕一		
飛翔体観測	客員教授	佐藤　毅彦	探査機や人工衛星に搭載する測定機器開発と宇宙惑星観測から，宇宙における構造形成，力学，物質進化と循環の基本法則を解明する。	（連携分野） 飛翔体観測 （宇宙航空研究開発機構）
	客員教授	藤本　龍一		
	客員准教授	山村　一誠		

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。

理学院　自然史科学専攻

令和８年１１月１日現在

講座	研究グループ・研究室	指導教員		研究内容	備考
科学コミュニケーション講座	科学技術コミュニケーション研究室	准教授	川本　思心	社会の中の様々な科学技術コミュニケーション活動を科学技術社会論のアプローチで質的・量的に分析することで，実践に資する知見を得ることを目標としている。特に，科学技術の両義性や、異なる専門間のコミュニケーション，専門家が創出する非専門的コンテンツに着目した事例研究に力を入れている。	
	科学基礎論研究室	教　授	松王　政浩	科学技術をめぐる「社会的なレベルの合理的選択」はいかにして可能か。こうした，科学技術と社会をめぐる哲学的な問題の分析を，種々の具体的な事例に則しながら行っている。また一方で，科学知の確からしさに関する因果性や帰納の問題，ライプニッツ以降の時間・空間論といった科学哲学のコアな問題にも取り組んでいる。	
	教育デザイン研究室	准教授	岩間　徳兼	心理学，教育工学，教育測定学といった学問領域の考え方をベースに，効果的，効率的，魅力的な学習方法，教育方法を考え，実証を通じた提案を行う。研究室で扱うテーマは計量的手法に基づく評価・測定法，統計教育，学習・教授の設計等である。	教育イノベーション機構
		准教授	奥本　素子		教育イノベーション機構
		准教授	石川奈保子		教育イノベーション機構
	コミュニケーション・メディア研究室	教　授	重田　勝介	コミュニケーション・メディア研究室は，教育工学を専門とし，ICTを活用した教育実践研究を推進する人材を育成しています。研究対象には，教育におけるコミュニケーション・メディアの有効性や効果，ICTの教育利用，eラーニングの設計や開発，オンライン授業の実践研究が含まれます。研究室では，学生は指導教員と協同して教育実践研究に取り組むことで，研究者としてのスキルや能力を身につけ，現代の教育に求められる新しい視点を得て，教育現場や社会に貢献することを目指しています。	情報基盤センター
		准教授	杉浦真由美		教育イノベーション機構
		准教授	山本　堅一		教育イノベーション機構
		准教授	藤岡　千也		教育イノベーション機構

※教員の構成は変わる可能性があるので，最新の情報については理学院ホームページ等で確認してください。